

先進的な工場調査を実施

当署管内には、全国でも先進的な竹等を原材料とした新建材等の製造販売と竹・パークを活用したバイオマス発電所が南関町で稼働しているとともに、スギ製材品を重ねて束ねることで製造するスギBP材（※）の製造販売を日本で初めて国交大臣認定を受けた工場が山鹿市で稼働しています。

このことから、管内の木材と竹材の需要拡大の検討と当署職員の資質の向上を図ることを目的に、2月19日に当署職員20名が参加して先進的な工場調査を実施しました。

午前中は、竹の新建材等の製造販売と竹・パーク材バイオマス発電等を行っているバンブーフロンティア（株）、バンブーマテリアル（株）、バンブーエナジー（株）を訪問して、山田浩之代表取締役会長等から会社と施設の概要説明を受けた後、団地内にあるバイオマス発電所の稼働状況や竹の新建材の生産施設等を視察しました。

続いて午後からはBP材を製造販売している工芸社・ハヤタ（株）において、早田允英代表取締役等から会社と施設の概要説明と、スギ、ヒノキBP材の生産施設を視察しました。

参加した職員からは、様々な視点から活発な質問が出るなど日頃見ることが出来ない全国でも先進的な工場を視察することが出来て、大変有意義な工場調査となりました。



（バイオマス発電所の状況）



（スギBP材製造施設の状況）

（※）BP材とは、スギやヒノキのA材（構造用製材）の特性を活かした新しい木質材料で、接着剤で積層（縦方向に重ねた材：Piling）した構造用製材を接着剤で束ねた（横方向の接着：Binding）大断面の木質複合軸材料です。